

12月号

2012(平成24)年
12月14日発行

SCHOOL
JURIDICAL PERSON
OSAKA
SANGYO
UNIVERSITY

学園ニュースレター
[ネオス] No. 20

発行元：学校法人大阪産業大学
総合企画室 学園広報課
〒574-8530 大阪府大東市
中垣内3丁目1番1号
TEL：072-875-3001
<http://www.osaka-sandai.ac.jp>

■特集 巻頭インタビュー……02

**野球選手として、
人間として成長できた
3年間——**

大阪桐蔭高等学校3年生 藤浪 晋太郎さん

■「BE HAPPY!!!」

阪駒祭大盛況……04

■No.1異種格闘技 対談……06

努力を重ね、励まし合い、挑戦！

中嶋浩二さん VS 江畑秀範さん

高みへ
さらなる

野球選手として、

人間として

成長できた3年間――

長身から繰り出す角度のある直球と、抜群のコントロール、キレのある変化球で甲子園を席巻。2012年の高校野球は、藤浪晋太郎選手がけん引したといっても過言ではない。野球部、栄光の甲子園、プロへの思いを語ってもらった。

藤浪 晋太郎さん
大阪桐蔭高等学校3年生



ストイックで安定感のあるプロ選手に

——阪神タイガースへの入団が決まった感想は？

阪神に指名していただいたことは、何度も甲子園球場で戦った身としては運命を感じました。和田豊監督からは「注目されて大変だとは思いますが、自分をしっかりと持って頑張ってくれ」と声をかけていただきました。背番号も19番というとても良い番号をいただきましたので、それに見合う実力を身につけたいと思います。

——チームメイトの反応は？

「(甲子園は)近いから見に行けるな」とか、いろいろ声をかけてもらっています。今年の春夏甲子園の決勝で対戦した光星学院の北條史也選手も、同じく阪神に入団しました。中学時代から知っているの、心強いですね。

——どんな選手になりたいですか？

技術的にすぐれたピッチャーになることはもちろんですが、人間として尊敬される選手になりたいです。ファンやメディアの方への対応もきっちりでき、野球部で学んだ礼儀や、きびきびした態度を示せる選手でありたいですね。憧れはダルビッシュ投手と前田健太投手です。ダルビッシュ投手のストイックに自分を高めようとする姿勢と、前田投手の安定感を見習いたいです。

——「浪速のダルビッシュ」と呼ばれることについては？

あまり気にしたことはないです。マイペースな性格なので、報道などで騒がれ

てもあまりプレッシャーに感じたりすることもないんです。

勝利につながるピッチングがベスト

——春夏連覇を果たした今年の甲子園を振り返ってください。

春は、運が良かったという印象。負けでもおかしくない試合の連続で、僕も打ち込まれました。4番の田端の離脱もあり苦しみましたが、全員がいつも以上の力を出せば勝ると西谷監督から言われ、あきらめず戦うことができました。

夏に関しては、負ける気がしませんでした。どの試合でも常に自分たちが主導権を握ることができていました。僕自身、春からの課題としてフォームの修正に取り組み、その成果も出ました。特に決勝戦は、高校3年間の中でベストのピッチングができました。

——藤浪投手にとっての理想のピッチングとは？

勝利につながるピッチングです。味方が取ってくれた点数よりも失点を少なく抑えることは当然で、味方の好機を促せるような投球、三振の数ではなく、安定して勝利を呼び込めるピッチングが理想です。

——3年間で苦しんだ時期もありましたか？

2年生の夏ごろです。大きな大会で敗れて以降、自分の投球ができなくなって、直球のスピードもキレも、コントロールもまったくダメになりました。苦しかったですね。次の大会では絶対勝つんだという気持ちで練習に取り組み、何とか乗り越えました。

——西谷監督からの言葉で最も印象的なものは？

「マウンド上ではいつも強気でいろ」ですね。吠えたり、ガッツポーズをするということではなく、「自分の球を打ってみろ」という気持ちで常に相手に挑めと教えられました。

体育祭や文化祭参加、新鮮だった

——野球以外の学校生活はどうでしたか？

野球漬けの日々でなかなか学校行事にも参加できませんでしたが、高校3年間ではじめて、体育祭で中学生と交流したり、文化祭に参加できたことは新鮮な出来事でしたね。楽しかったです。

——得意な科目は英語と聞いているますが？

中学生のころは英検準2級を取得したり得意だったんですが、今はあまり(苦笑)。でも、英文法よりも実際の英会話が好きですね。高校では国語や日本史が得意科目。練習や試合のない日は、寮の部屋で小説など本を読んだりすることが多かったですね。

——最後に後輩たちに一言お願いします。

桐蔭は全国から注目される存在になり、プレッシャーはあると思います。それを逆に力に変えてほしい。身体能力も高いですし、バッティングに関しては僕ら世代よりも上だと思う。あとは粘り強さ、最後の最後まであきらめないという桐蔭野球部の伝統を受け継いでほしいですね。僕もそれを胸にプロで頑張っていきたいと思っています。



11月2~4日 第47回阪駒祭



来場者
19387名

BEH

第47回阪駒祭を無事終えることができました。在学生やお越しいただいた多くの皆さんに楽しんでもらえたと思っています。大学関係者をはじめとする皆さんのご協力に心より御礼を申し上げます。

今年の学祭のテーマは「BE HAPPY!!!」でした。学祭に来ていただいた来場者の方々に少しでも幸せな気持ちを持っていたらこうという思いからこのテーマに決定しました。

初日(11月2日)は天候にも恵まれ無事に開会式を行うことができました。開会式後行われた演武祭では武道系クラブの迫力ある演技の数々で、見る人がとりこになっていました。この後、中庭パティオで「Cコード」という学生バンドの演奏や、学生プロレスの迫力あるパフォーマンスも披露され、たくさんの人に楽しんでいただきました。無料ライブでは、「Left」や「over action」、「ZILcoNIA」など関西を中心に活動している実力派アーティストの迫力のある演奏に、中庭パティオが人で埋め尽くされました。

2日目の11月3日は、吹奏楽部の演奏の後、「lalala music」というバンドが演奏し中庭パティオ内が沸きあがりました。お昼ごろ、侍ショーがあり、洗練された殺陣は見る者を魅了しました。その後、大学祭実行委員会2年生企画「男女逆転!!? 阪コレクション」では男女が逆になり男装や女装したり、学生健康保険委員



山地弘晃実行委員長からメッセージ

会のイベントではビンゴ大会で大いに盛り上がりました。多目的ホールではホームカミングデーということで落語をしていただき饒舌なしゃべり口で会場中を沸かせていました。そして、有料ライブは、同世代から絶大な人気を誇る沖縄出身の歌手「BENI」を招きスタンディングライブで行いました。「BENI」の美しい歌声に、来場者も酔いしれていました。

最終日の11月4日は、大学祭実行委員会1年生企画の「K-1(くいしんぼうグランプリ)」という主にプリンやジュースをテイスティングするという企画をし、1年生ながらとても盛り上げてくれました。吉本芸人無料LIVEも行われ、「天竺鼠」や「プラスマイナス」、「ジャルジャル」の漫才やコント、またフリートークで中庭パティオが笑いの渦に取り込まれました。その後の、無料ライブでは「TAK-Z」や「強」、「BIG BEAR」といった全国規模で活躍している有名なアーティストが演奏しました。のど自慢では、コスプレをした参加者がハイレベルな戦いを繰り広げました。

僕自身、阪駒祭の運営はとても勉強になりました。100人近い学祭委員をまとめるのに苦労しましたが、ミーティングを増やすなど工夫をして乗り越えました。来年は僕たちが作った土台の上に、後輩たちがもっと楽しい「阪駒祭」を作ってくれと信じています。



学生プロジェクト
多数出店



●エルダープロジェクトも出店

エルダープロジェクトは来年の2月から3月にかけて学内で行われる、「高大接続プログラム」の企画・運営、そしてその成功を最終課題として活動している。今回エルダープロジェクトという名前を多くの方に知ってもらうため、焼肉で有名な「情熱ホルモン」などの飲食店を経営されている企業「五苑マルシン株式会社」とコラボレーションをし、「阪駒祭」において模擬店を出店した。

●母国の音楽や踊り披露 ～留学生フェスティバル



5回目を迎える留学生フェスティバルが阪駒祭より一足先に開催された。OSUチアリーディングチーム、Shiny Hornetsの元気いっぱいの演技からスタートし、マンマー人留学生の民族舞踊や韓国人なら誰でも踊るという伝統的な踊りが披露された。天津理工大学国際工商学院の留学生チームは「紅色之舞」で男女息の合った新しい踊りを見せ、中国人留学生の古箏と琵琶の演奏は美しい音色を聴かせた。韓国ポップ「カンナムスタイル」を、韓国人留学生と特別出演のBIBIDANCEがラップとダンスでコラボレーションすると、会場はダンスホールのような雰囲気の様変わり。ほかにも特別出演の少林寺拳法の演武や社交ダンスやベリーダンスもあり、4時間にわたって盛り上がった。



テーマに

大盛況



No.1異種格闘技対談

努力を重ね、 さらなるステージ

身長167cmと196cm。年齢26歳と20歳。種目はキックボクシングとテコンドー。どこに共通点があるのかという2人だが、彼らは強くなりたいという一心と、お互いを尊敬する思いでつながり、一緒にトレーニングを続けている。

——なぜ一緒にトレーニングをするように？

中嶋 去年、僕が通っているジムに秀(江畑さん)の後輩がいて、その縁で秀から声をかけてくれたんです。最初はとにかく「デカっ!」という印象。バスケットかバレーをやっているのかと思った。

江畑 後輩から、すごく強いキックボクサーが産大にいと。会ってしばらくして、僕が参加している大学の「日本代表養成プロジェクト※」に平八さん(中嶋さん)を誘ったのがきっかけで、一緒にトレーニングを始めました。プロジェクトでは、心肺機能や基礎体力の向上、不足筋肉の鍛錬などを行っていますが、何をやっても平八さんにはかなわない。

中嶋 秀も最近はいよいよ良くなってきたよ。僕自身、体幹トレーニングなど、これまで知らなかったことをさせてもらい、明らかにレベルアップしている。パワーも回復力も上がりました。誘ってくれた秀には感謝しています。

江畑 当初プロジェクトの参加者は僕1人だったんですが、平八さんが入ってくれて目標ができた。今でも持久走などで先に弱音を吐くのは僕なんですけど、平八さんから「秀!ラストや、ガンバレ!」と言ってもらえるだけで、頑張れるんですよ。

中嶋 秀が前にいけば追いつこうと思うし、後ろにいけば追いつかれないように頑張る。向上心も能力もあ



る秀とのトレーニングは楽しいし、力になります。

——キックボクシング、テコンドーを始めたきっかけは？

中嶋 19歳のとき、今のジムに見学に行ったのがきっかけです。やってみると楽しいし、2年前にはNJKFフェザー級チャンピオンにもなり、勝つ喜びも知りました。王座決定戦は、実績十分の相手に勝てたことがうれしかったですね。

江畑 僕は高校2年生の時に、大好きな格闘技でオリンピックに出場したいと思ったんです。知人にテコンドーを勧められて始めてみると、楽しくなって。高身長もあって初級レベルでは負け知らず。でも、上級者にはまったく勝てない。そんな日が続くと落ち込んで、もうやめようか、とまで思っていたときに、両親にテコンドーの盛んなタイに修行に行けと言われたんです。そこでトレーナー

キックボクシングNJKFフェザー級王者
中嶋 浩二さん (リングネーム)
(人間環境学部スポーツ健康学科2年生)

プロフィール

1986年生まれ、大阪府出身。高校時代はボクシングでインターハイ出場。07年にデビュー。ボクシングで培ったパンチテクニックで白星を重ね、09年3月には心センチャイジムと激闘の末に勝利。また、デビューから3年目、12戦目にしてNJKFフェザー級王座を獲得。通算戦績は14戦11勝(4KO)3敗。

励まし合い に挑戦!



に基本練習だけをみっちり1カ月間教わりました。組み手も試合も一切せずに鏡に向かい、前蹴りの型の鍛錬をひたすら続けて帰国すると、上級者にも勝てるようになっていた。

中嶋 基本の大切さを知ったんやね。

江畑 そう。さらに技術的な練習とプロジェクトのおかげで、インカレ、全日本でも優勝、海外の有力選手も出場するコリアオープンでも2位になれました。

中嶋 僕もキックボクシングをやっていて、辛いことはいっぱい(笑)。特に減量は、無理な食事制限をして体重を減らして、空腹で寝られないなんてこともありました。

江畑 今でも減量中の平八さんには近寄れないですよ。顔は小さくなっていくし、しゃべらなくなるし、ピリピリしているし。

中嶋 できるだけ“透明人間”になって、触れられないようにしています

(苦笑)。

——大阪産業大に入学したのはなぜ? 今後の目標は?

中嶋 将来的には中学・高校の体育教師になりたいと思い、教員免許も取得でき、練習時間も確保できるように家から近い産大を受験しました。

江畑 僕も夢はオリンピックでの金メダルと体育教師になること。学校案内を見ると、産大にはスポーツを中心とした学科、トレーニング環境、さらにはテコンドー部まである。すべてがそろっていると思い、何が何でも入学しようと決めたんです。実際の授業もいろんなことが学べて楽しいです。

中嶋 授業の内容は深いですね。今までやってきたトレーニング以上に効率的な練習方法も知ることができました。

江畑 今後の目標は、絶対に体育教師の免許を取って、国際大会で金メダルを獲得すること、そしてインカレの4連覇、これを在学中に成し遂げたい。テコンドー部では団体優勝も狙っています。

中嶋 僕も教員免許はもちろん、タイなどキックボクシングの先進国でチャンピオンベルトを、そしていずれは世界タイトルを獲りたいですね。

.....
※本学の優秀なアスリートが日本代表として国際舞台で活躍できるように、教員と学生が共に力を合わせてアスリートを支援・育成していくことが目的。そのサポートを通じ、アスリート自身と学生サポーター(トレーナーや指導者をめざす学生)ともに、スポーツの基礎知識や技術の習得をめざす。

全日本学生テコンドー選手権2連覇
江畑 秀範さん
(人間環境学部スポーツ健康学科2回生)

プロフィール

1992年生まれ、大阪府出身。テコンドーを高校2年生後半から始め、11、12年と全日本学生テコンドー選手権大会(インカレ)連覇。12年、大阪府テコンドー選手権大会に優勝し、最優秀選手賞を獲得。同年、コリアオープン国際テコンドーチャンピオンシップで2位。





企業のこと、よく知って

卒業生社長との 情報交換会

2012年10月20日、梅田サテライトキャンパスでキャリアセンター主催の卒業生社長との情報交換会が開催された。大学からは本山学長、校友会代表者4名、キャリアセンタースタッフ。卒業生は製造・建築業や自動車業、輸送業の企業9社の社長をはじめ10名が参加した。

本山学長は、「今回お集まりいただいた皆さまのご意見などを頂戴して、1人でも多くの卒業生が(希望の就職先に)就職できるようにしていきたい」と開会のあいさつを述べた。福井義員校友会副会長からは、新設されたデザイン工学部が紹介された。

次に、出席した卒業生社長が順番に自己紹介と大学や学生に対しての意見を述べた。「最近の学生には元気さ、素直さ、ハングリーさが無い」「企業のことをよく知らずに就職するので、働き出してから



ギャップを感じてしまい、すぐ辞めてしまう」など経営者ならではの意見や、「1回生からインターンシップを導入することにより、早い段階で学生に企業のニーズを知ってもらいたい。そうすれば学ぶ姿勢も変わるだろう」という後輩たちへのアドバイスもあった。また、「学生の人間力をどう教育していくか」といった、今後の課題について議論もなされた。真剣な場ではあったが、社長自らの失敗談を語るなど、笑いが起こる場面もあった。

高橋キャリアセンター長からは現状報

告として、キャリアセンターの取り組みと方針、本学の就職状況の説明、各企業に対しての求人依頼を行い、「個々の学生の特徴が一目でわかるような、独自の自己紹介書を使っている」といった、他大学との差別化を図った取り組みを紹介した。

情報交換会終了後には第二部として懇親会があり、出席者が食事をしながら名刺交換や学生時代の話など、和やかな雰囲気の中に閉会となった。





プロの仕事を間近に見学

経営学部経営学科3年生
生駒 菜摘(いこま なつみ)

私は公益財団法人日本センチュリー交響楽団のインターンシップにいかせていただき、野外コンサートの準備や会場でのグッズ販売をさせていただきました。印象に残っているのは、リハーサル見学を近い位置でさせていただいたことです。プロの方のリハーサルを見学させていただくというのは中々ない機会だと思うので、すごくいい経験になりました。

また、今までかかったことのない業種だったので、知らなかったことをたくさん知ることができ、自分の視野を広げることができました。同じ作業でも、どういう風にすれば効率がいいかと考えることで、仕事に対する意識が変わりました。

インターンシップに参加する人たちはやる気のある学生ばかりで、その中で実習を体験していくうちに、自分自身就職活動への意識が高くなりました。また、いろいろな方にお話を聞かせていただき、すごく勉強になりました。

インターンシップ 体験記



コミュニケーション学

人間環境学部生活環境学科3年生
佐見津 拓海(さみつ たくみ)

今回、私は岡野食品産業株式会社という菓子パンや食パン、サンドイッチといったパンを製造、販売している会社で9日間実習体験をさせていただきました。インターンシップに行こうと思った理由は、これから社会で働くにあたって自分に足りないものや「社会で働く」ことをインターンシップを通じて見つけ、学びたいと思ったからです。

岡野食品産業株式会社では生産体験実習と営業体験実習をさせていただきました。

生産体験実習では、エアシャワーやローラーチェックといった雑菌を落とす作業や、念入りの手洗いを初めに必ず行うといった自分が想像していたよりも衛生面に対しても厳しいことを学ぶことができました。

営業体験実習では、営業の方と一緒に回っている際に、計画的に行動することを教えていただき、スーパーの中で仕事内容を見学している時に商品の売り方や店舗によっておすすめの商品が違うといった店舗の裏側や、店の方々とコミュニケーションをとる大切さを学ぶことができました。

これらのインターンシップの貴重な体験により、自分には足りない応用力や対応力が必要だと気づくことができ、生産体験実習で失敗したことで社会で働くにあたって周りに気配りをするものの大切さを学び、社会で働くにあたって積極的にいろいろな方々とのコミュニケーションをとる大切さを学ばせてもらいました。

学外でも本学指定の履歴書はもらえます！

学内のキャリアセンターと東部学生サービスセンター以外で、梅田サテライトキャンパスでも配布しています。梅田サテライトキャンパスでは、本学の学生であれば、パソコンで就職支援システム(ポータルサイト)にログインし、企業検索等も可能です。是非ご利用ください。

梅田サテライトキャンパス 大阪駅前第3ビル19F Tel 06-6442-5522

学内大型合同企業説明会に参加しましょう！

平成25年2月12日、13日に本学総合体育館で、午後1時30分から学内大型合同企業説明会が開催されます。東証、大証の一部上場企業を含め、本学の卒業生がお世話になっている企業様約100社ずつがブース形式で説明をされます。午前中は就職対策講座を予定しており、頭の中を「就活」にスイッチ・オンしたまま説明会へ参加できます。3年生は友達と誘い合って是非参加してください。ただし、服装はスーツを含め、学外の企業説明会に参加するのと同じです。学内だからといって普段着では入ることができないのでご注意ください。

このほか、2月、3月と集中で合同企業説明会が開催されますが、日程や場所は決まり次第、キャリアセンターに掲示をしたり、ポータルサイトで案内するので見逃さないでください！

就職スキルアップ合宿のご案内

指導講師：森 吉弘氏(元NHKアナウンサー)・占部 礼二

ねらい

- 自分を極限まで追い込み、新たな自分を再発見する
- 個性のある自分に気づかせ、勇気を芽生えさせる

目標

就職活動の必須アイテムである自己PR、志望動機、エントリーシートの完成を目指す。さらに、実社会で対応できるような甘えを許さない精神構造の基礎を作る。「あすが面接でも大丈夫」という状態まで作り上げる。

- 日 時 第1クール 8月に終了しました
第2クール 2013年2月14日(木)～15日(金)1泊2日
第3クール 2013年2月15日(金)～16日(土)1泊2日
- 集 合 大阪産業大学16号館前ラウンジ
- 服 装 スーツ着用(ただし、期間中私服も必要です)
- 持 物 筆記用具・洗面用具・シャンプー・リンス・タオル・バスタオル・パジャマ(ジャージ等)・健康保険証コピー等
- 場 所 大阪産業大学内(期間中は外出禁止です)
- 対 象 者 2014年3月卒業予定の者
- 募集人数 30名×2クール 合計60名を予定
応募者多数の場合は選考になり、参加できないこともあります
- 費 用 大学負担
- 申込・締切 第2、第3クールは2012年11月の学部学科ガイダンス(3年生対象)終了時より2012年12月17日(月)午後5時までに申し込み用紙に記入し、キャリアセンターへ申し込みをしてください(用紙はキャリアセンターにあります)

※第1クール(8月)に参加した学生は今回参加できません

大産大附属中学・高等学校



高校



実りの秋の「梧桐祭」「体育祭」

今年で65回目を迎えた「梧桐祭」が10月1日、「体育祭」は10月4日に、それぞれ開かれた。

台風のため1日延期となった梧桐祭だったが、演劇部、美術部、書道部、茶華道部、イラストレーション・コンピュータ研究部、ESS部など文化部が中心となって日ごろの積み重ねの成果を力いっぱい表現した。今年の新しい試みとしては、図書委員会とイ

ラストレーション・コンピュータ研究部が、力を合わせて本の紹介や展示、しおりの販売を図書館で行った。また生徒会長の田中愛子さん(3年生特進コース)のあいさつで始まったステージも軽音楽部、吹奏楽部の生演奏、チャアリーディングやダンス部の演技、各クラス趣向を凝らしたダンスや演劇やパフォーマンスに惜しみない拍手が送られた。



今年度の「体育祭」は雨天のため、約1時間遅れのスタートとなった。7団に分か

れ50・100・200・1000m競走、リレー、ロープ引き、障害物リレー、綱引きと、それぞれ力と技とチームワークを競い合った。2年生女子による旗を使った軽やかな創作ダンス、集中力と団結力とバランス感覚の極致であるスポーツコース全員参加の棒体操に、惜しみない拍手と感動の渦がグラウンドいっぱい広がった。3年男子の200m競走、2年3年それぞれの800mリレー、今年は3つの「大会新記録」を更新、実りの秋の学校行事を終えた。

練習の成果を披露

文化発表会

中学

11月17日、本校体育館で文化発表会が行われた。

今回で12回目を迎えるこの行事も年々見ごたえのあるものになっている。1年、2年と経験する中で、毎年より良いものにしていくとの強い思いが上級生たちにあるからだ。それが練習に対するやる気につながり、演奏の上達にも現れている。

今年も、英語暗唱大会、合唱、器楽演奏



に取り組んだ。限られた練習時間の中で、各クラスとも練習の成果を出し切り、大きな達成感が得られた一日となった。

何よりも同級生や保護者の皆様の拍手が生徒たちの自信となったことだろう。来年度もさらに生徒たちの努力に期待したい。

秋空の下、全員大活躍

体育祭

中学



さわやかな秋晴れのもと、体育祭が9月23日秋分の日に行われた。

平岡校長のあいさつなどの後、中林一騎さん(3年生)の力強い選手宣誓で熱戦の火ぶたが切られた。競技は50m競走を皮切りに、ロープ引き、100m競走、障害物リレー、200m競走と続いた。生徒たちは元気に力一杯競技に参加した。



さらに、体育祭のメインともいえる女子のダンスと男子の組体操の集団演技には、惜しみない拍手が送られた。生徒達も達成感いっぱいの生き生きとした表情をしていた。後輩たちには上級生の頑張りを受け継いでいってほしい。



一日乗車券で市内一周 社会見学

中学

10月4日に、乗車マナーや通行マナーの実践、ボランティア活動の実践を目的に社会見学を実施した。大阪市内の市バス、地下鉄を一日乗車できる「エンジョイエコカード」を利用して、大阪市立美術館、大阪城天守閣、大阪歴史博物館を見学して回った。

各班で相談して作られた行程表をもとに、それぞれのチェックポイントを通過した。当日は、雨模様の残念な天気だったが、各班好きな場所でお弁当を開け、楽しく語り合った。



ラグビー部 2年ぶり7回目 全国大会出場決定

高校

9月16日から開催された全国大会大阪第3地区予選に出場したラグビー部は、1回戦で上宮高校を81-7、準決勝で日新高校を82-0で圧倒し、決勝に勝ち進んだ。決勝戦は同志社香里高校との対戦。中学3年生と高校1年生の全員応援のもと、後半に力の差を見せつける力強いプレーで30-14と圧倒し、2年ぶり7回目の全国大会出場を決めた。全国大会は12月27日より近鉄花園ラグビー場で開催される。同部は、12月1日の抽選の結果、12月28日、1回戦で青森北高校と対戦する。

吹奏楽部が金賞

3度目
高校

全日本マーチングコンテスト

11月18日大阪城ホールで行われた第25回全日本マーチングコンテストに出場した吹奏楽部は、出場団体中最大人数の161人の編成で出場し、躍動感あふれる行進と美しく磨き上げた演奏を披露し、2年ぶり3度目の金賞に輝いた。コンテストには、関西代表4校を含む25校の各地区代表校が出場し、金賞10校、銀賞10校、銅賞5校が決定した。



珍競技、応援盛り上がる

体育祭

高校

10月12日、なみはやドームで体育祭が開催された。吹奏楽部の深みある演奏に合わせた校歌斉唱と森山校長のあいさつの後、今年甲子園を沸かせた硬式野球部の藤浪晋太郎さん(Ⅲ類3年生)による選手宣誓によって幕を開けた。

各リレーでは男女とも真剣な表情で1番を目指し駆け抜けた。また、二重跳び耐久競争という珍しい競技もあり、各学年が残っている選手を精一杯応援した。最後まで跳び続けた選手はガッツポーズをするなど大盛り上がりを見せた。騎馬戦、棒引きでは、火花が散

両体育祭では、高校Ⅲ類吹奏楽部がマーチング演奏を披露してくれた。EXILEや嵐といった人気アーティストの曲や、「銀河鉄道999」「風になりたい」などの名曲を、演奏しながらさまざまな形態に変化したり歌ったりと、全国レベルのマーチングが感動を巻き起こした。

るほど力と力がぶつかりあった。教職員も参加したデカパン競走では、コスプレをして参加する先生や生徒もいるなど、終始会場内が声援や笑い声などで盛り上がっていた。

大縄跳び72回も 体育祭 中学

10月13日、なみはやドームで体育祭が行われた。50m走からはじまり、障害物競走、デカパン競走、雑巾リレー、ピン球リレーなど、元気いっぱいに参加した。大縄跳びでは、各チームの先生が勝つために作戦を練った結果、2年生の青チームが72回という大記録を出した。

また、中2女子ダンスでは、「Ocean Pirates」というテーマのもと、ダイナミックに表現した。どの種目でもチームで集まって手拍子をしたり声援をおくるなど、全員で体育祭を楽しんだ。



夏の感動をもう一度

文化祭

高校
中学



中学校・高等学校の文化祭が、11月3日の文化の日に本館・東館などを会場に行われた。今年のテーマは「燃え上がれ桐蔭祭」。この夏の甲子園で、燃え上がるように一致団結したあの日の感動を胸に、文化祭もそれ以上に盛り上げようという熱い気持ちが込められた。総合プロジェクトワークの授業で創意工夫を重ねてきた成果発表や文化系クラブの展示・演奏、実行委員会の企画運営による高校野球写真展、アイデアや知恵を絞って作り上げた模擬店など盛りだくさんの内容。生徒の保護者をはじめ多くの来場者が訪れ、夏の感動をもう一度と燃え上がる生徒たちとともに、秋晴れのもと大いに満喫した。また、恒例の桐友会(保護者会)によるバザーは、早朝から長蛇の列ができる大盛況で、カレーショップとともに文化祭を盛り上げた。



大切なのは、 自分を客観的に見て 表現すること



大阪産業大学附属高等学校
 普通科特進コース国語科教員／ダンス部顧問
松岡直央子 先生

松岡先生がダンス部の顧問に就任したのは2011年のこと、国語科の教員として2年目を迎えていました。ダンスと国語、先生はこの2つを通して生徒たちに伝えたい、ある思いがあります。

クラブ活動でしか学べないもの

現在ダンス部は女子ばかり1・2年生合わせて12人。主に夏の大会と秋の文化祭での発表を目指して週5日、1時間から2時間、創作ダンスとストリートダンスを中心に練習しています。初心者ばかりですが生徒が主体的に活動していて、演じる作品についても、インターネットで調べたり、顧問の意見も参考にして全員で決めています。活



ダンス部を指導する松岡先生

動に対する個人意識の差など、部内の問題も「話し合いたいので、教室を貸してください」と言ってきて、自分たちで解決しています。私自身、ダンスを小学生のころから始めて、これまで続けてきました。大学のサークルでは、同じようにグループの意思統一を図るのに苦労した経験があり、気持ちはよくわかります。

創部2年目で実績ありませんが、舞台上彼女たちの踊る姿を見ると、大変な思いをしてきたのを知っているだけに感動します。賞の獲得よりも、私はクラブ活動でしか学べない協調性や人間関係を重視して指導しています。

国語とダンスの共通点は？

教師を志したのは、高校時代の担任の先生がきっかけです。生徒に時折辛らつなことを言うほうだったんですが(笑)、授業でもクラブでも、進路についても常に私たち

を支えてくれました。今思えば厳しい言葉も的を射ていたなど。教師の夢を後押ししてくれたその先生とは現在でも親交があり、いろいろと相談しています。足りないところだらけの私ですが、受験に合格した生徒が「先生のおかげです」と言ってくれると素直にうれしいですね。

私は国語とダンスには共通点があると思っています。それは、自分を客観的に見て表現する術を学べるということ。相手に自分のことを上手に伝えるには、まず自分が相手にどう見えているかを知った上で、表現しなければなりません。国語であれば読み書きで、ダンスであれば体でそれを養うことができます。社会に出れば自身の内面を知ってくれている人は少なくなる。そうならば今以上に自分から積極的かつ、的確に自己アピールをしなければなりません。自己の客観視と表現力を、国語とダンスを通じて磨いてほしいと思います。

新エネルギービークルプロジェクト 2つのレースで大活躍



Ene-1GP MOTEGI クラス優勝

11月10日に行われた「Ene-1GP MOTEGI」のKV-1bクラス(大学、高専、専門学校クラス)に参戦した。

耐久レースでは予定したエネルギー管理による終始安

定した走行やドライバー交代によるビット作業など学生たちの努力が実り、みごとクラス優勝を飾ることができた。

今回レースマネージャーを務めた久保尚幹さん(交通機械工学科2年生)は「今まで苦労したものが報

われるのはうれしいですし、これからも努力する励みになりました」と笑顔で話した。

EcoCarFesta2012では総合2位

10月28日に行われたワールド・エコノムーブ・グランプリ第5戦「EcoCarFesta2012」のオープンクラス(一般クラス)に参戦した。

ワールドエコノムーブは原動機付自転車のバッテリーを使用し、規定時間内の走行距離を競うもので、企業内チームや大学、高校チームが数多く参戦する非常に大きな大会である。

本学車両は事前に目標とした周回数に向けて安定した走行を続け、

見事クラス2位。総合でも2位を獲得した。学生代表の有本茂樹さん(交通機械工学科2年生)は「どんな天候でも安定して走行できるように車を製作してきたので、それが今回十分に発揮できて非常にうれしく思います。継続して努力することの大切さを改めて学びました」と語った。



静岡県的小笠山総合運動公園(エコパ)で、9月3日から7日までの5日間にわたって第10回全日本学生フォーミュラ大会が開催され、アジア各国からも合わせて72校のチームが集結した。昨年度大会のリタイアという結果、無念を晴らすべく一人ひとりが特別な思いを抱きながら大会に臨んだ。

動的種目ではトップチームと同等のタイムをたたき出し、スキッドパッド競技では自己ベストタイムを記録。オートクロスでは2位という好成績をおさめた。しかし、エンデュランスのドライバーチェンジ時にブレーキフルードの漏れが発見され途中リタイアになるなど、全種目完走には一歩及ばなかった。プロジェクトメンバーは「結果は昨年と同じ36位に終わったが、今大会で多くの課題を発見し、大会トップチームと競えるだけの車両を製作することができたという自信につながりました。また、多くの課題も発見することができたので、来年度大会に向けて頑張っていきたいです」と話していた。

フォーミュラプロジェクト健闘 静岡・小笠山で第10回全日本学生大会

OBが プロの落語熱演 第4回ホームカミングデー



11月3日、第4回ホームカミングデーが開かれた。11号館多目的ホールで吹奏楽によるオープニングが行われ、余韻冷めやらぬ中、本学卒業生の笑福亭三喬師匠、その弟子で同じく本学卒業生の笑福亭喬若さんによる落語会が始まった。出し物として、喬若さんは「時うどん」、三喬さんは「住吉駕籠(かご)」を演じた。

11号館3、4階の教室では同窓会「恩師との再会」が行われた。卒業生が懐かしい先生との再会に、時間も忘れて話をする姿が印象的だった。

その後、笑福亭三喬・喬若さんに加え、籠谷前学長、西事務部長の4人で「大学時代の思い出トーク」を披露。西事務部長は応援団を「4年間歌を歌う非常に厳しいクラブ」と表現し、笑いを起こした。三喬さん(工学部卒)、喬若さん(経済学部卒)は「理系と文系で落語の構成が変わる」と、過去の学歴が今に影響していることをおもしろおかしく語った。

東部キャンパスのAMC(自動車整備センター5階ラウンジ)で行われた懇親会で、本学学長は「われわれ人生の先輩が後輩たちのために何かできないかと常に考えていきたい」と述べた。美内校友会会長は「頑張っている後輩たちを応援したいと思って作りました」と、会場に掲げられた大きな横断幕を紹介した。中村副学長による乾杯の挨拶の後、会食となり、ここでも懐かしい話が飛び交い、にぎやかな雰囲気のままホームカミングデーは幕を閉じた。



笑福亭三喬師匠(左)と喬若さん



内田さんが大健闘 USオープンジュニア・世界スーパージュニア

産大高校3年生の内田海智(うちだ・かいち)さんが、9月上旬開催されたUSオープンジュニア本大会でシングルスベスト4という日本人男子初の快挙を成し遂げた。準々決勝では第1シード、ベルギーのK・コッペジャン選手に6-1、6-4のストレートで大勝利した。

また、10月下旬に行われた世界スーパージュニア(世界ジュニアテニス9大会の一つで、今年で17回目を迎える「大阪市長杯2012世界スーパージュニアテニス選手権大会」)シングルスでは、準決勝で序盤苦戦するも気持ちを切り替え、大逆転して決勝に駒を進めた。決勝では、オーストラリアのニック・キルギオス選手に6-7、6-7で惜しくも敗れはしたが、準優勝という輝かしい結果を残した。

また、錦織圭選手が日本男子初のツアー通算2勝目を挙げた10月の楽天オープンなど、何度も日本の若きエースの練習パートナーを務めてきた。世界の舞台での活躍に今後も期待してほしい。

三浦弦太さん、 清水エスパルスへ

桐蔭高校サッカー部で活躍してきた3年生の三浦弦太さんが、清水エスパルスに入団することになった。夢をかなえた三浦さんに、これからの抱負を聞いた。



Jリーガーとして成長

大阪桐蔭高校では、3年間でたくさんのことを学ばせてもらいました。寮生活をしていたので、両親のありがたみや感謝の気持ちを学ばせてもらえ、サッカーの面だけでなく、人間として成長させてもらえたと思います。

これからはプロサッカー選手としての自覚をもった行動、プレーをしていかなければならないし、自分の夢であったJリーガーになることはできたけれど、まだまだ通過点だと思うので、より高みを目指してこれからはよりいっそう努力し、結果を残せるように、成長していけるように頑張っていきたいと思います。



服藤さん優勝、森本さん準優勝 近畿地区空手道選手権大会

第38回近畿地区空手道選手権大会が10月28日、滋賀県立体育館で行われた。

体育会空手道部の服藤克哉さん(生活環境学科2回生)が一般男子形で優勝、森本奈美さん(建築・環境デザイン学科3回生)が一般女子組手で準優勝という非常に優秀な成績を収めた。また、西村勇斗さん(情報システム学科1年生)と上村歌奈さん(文化コミュニケーション学科1年生)は、一般男子形、一般女子形のそれぞれでベスト8と大健闘した。

特別招待 JAFモータースポーツ表彰式に ソーラーカープロジェクト

本学ソーラーカープロジェクトが、11月30日に開催された「2012年JAFモータースポーツ表彰式」に「FIA Alternative Energies Cup-Solar events

Cat. I - Solar Powered Vehicles Circuit」のチャンピオンとして特別招待され、フォーミュラニッポンのチャンピオンやGT選手権のチャンピオンらとともに、その栄誉がたたえられた。

また、ソーラーカープロジェクトは今年度国際自動車連盟 代替エネルギーカップ ソーラーカークラスのチャ



ンピオンとして、トルコ共和国イスタンブールで開催される国際自動車連盟モータースポーツ表彰式にもエントリーされている。

桐蔭高校吹奏楽部

◆OSAKA光のルネサンス2012

2012年12月14日(金)

大阪市中央公会堂

開場17:00

オープニングセレモニーでウェルカム演奏を披露します。

◆180人のサンタコンサート2012

2012年12月15日(土) 大阪ビジネスパークツイン21アトリウム

①13:30~14:30 Kid's Concert ②16:00~17:30 Classic Concert
③18:00~19:30 Pops Concert



大阪産業大学文化会吹奏楽部

クリスマスコンサート2012

2012年12月15日(土)

大東市立総合文化センター大ホール サーターホール

開場13:30 開演14:00

友情出演

- 大阪産業大学体育会 チアリーディングチーム
- 大阪産業大学附属中学校・高等学校 チアリーディングチーム FIGHTING ANGELS
- 大阪産業大学附属中学校・高等学校 吹奏楽部

吹奏楽部
イベント情報

大阪産業大学

体育系クラブ

■バレーボール部

○関西連盟秋季リーグ戦(9/8～10/29各大学体育館) 通常リーグ5勝2敗【0-3近畿大、3-1関院大、3-2立命大、2-3甲南大、3-1京産大、3-0龍谷大、3-0大院大】上位リーグ2勝1敗【3-0近畿大、1-3関院大、3-0立命大】結果：準優勝7勝3敗

■空手道部

○中国地区空手道選手権大会(7/14～15広島市中区スポーツセンター)【成年女子組手個人】準優勝：大原う実(文コミ1回)○第32回九州ブロック大会空手道競技大会(7/21～22沖縄県立武道館アリーナ)【成年男子軽量級個人組手】優勝：田代峻(経済2回)○第55回全関西大学空手道選手権大会(10/14大阪商業大学体育館)【団体戦】ベスト4：女子 ※男女ともに全日本学生空手道選手権大会への出場権獲得○第38回近畿地区空手道選手権大会(10/28滋賀県立体育館)【一般男子形】優勝：服藤克哉(生活環境2回)【一般女子組手】準優勝：森本奈美(建築環境3回)

■弓道部

○関西学生弓道リーグ戦(9/18～11/23各大学弓道場)【男子】3部：1位4勝0敗0分【107-69姫獨大、117-74佛教大、123-96神外大、116-105滋賀大】※2・3部入れ替え戦へ【女子】4部：1位4勝0敗0分【56-38奈良大、45-37奈医大、41-36奈女大、42-41京産大】※3・4部入れ替え戦へ

■少林寺拳法部

○関西学生新人大大会(10/6ベイコム総合体育館)【単独演武有段の部】1位：古澤慈士(文コミ1回)【自由組演武男子2段以上の部】3位：高橋快(商2回)・倉松端樹(スポーツ2回)【自由組演武茶帯の部】1位：奈良和記(生活環境2回)・大田祐磨(経済2回)【自由組演武白・緑帯の部】2位：堀江智久(生活環境1回)・田中智子(スポーツ1回)

■柔道部

○関西学生柔道体重別選手権大会(9/2天理大学)【男

子個人】66kg級3位：松下勇次(経営2回)・伊藤混基(経営2回)

■ゴルフ部

○関西学生ゴルフ選手権大会・関西女子学生ゴルフ選手権大会(8/6～8伏見ゴルフ倶楽部)【個人】女子7位T：小猿裕子(スポーツ4回)(1R:72/2R:75/3R:78)

■日本学生選手権大会出場決定

■テコンドー部

○第4回愛媛テコンドーオープン大会(7/15愛媛県立新居浜南高校体育館)【一般男子-58kg級(上級)】優勝：横井智行(文コミ4回)○2012LINX TAEKWONDO FESTIVAL(8/19池田市立五月山体育館)【一般男子(上級)-80kg級】優勝：江畑秀範(スポーツ2回)3位：堀尾和行(機械4回)【一般男子(上級)-58kg級】3位：横井智行(文コミ4回)【一般男子

(中級)-68kg級】優勝：牛窪弘志(経済4回)【一般男子(中級)-63kg級】3位：杉森淳(流通4回)同3位：東知輝(経済3回)【一般男子(初級)-74kg級】優勝：瀬川祐也(経営2回)【一般男子(初級)-63kg級】3位：和久貴司(文コミ2回)○第6回全日本学生テコンドー選手権大会(9/23神奈川県三浦市潮風アリーナ)【一般男子-80kg級】優勝：江畑秀範

■女子硬式庭球部

○第72回北海道テニス選手権大会(8/21～26札幌市中島公園庭球場)【女子ダブルス】準優勝：鈴木麻友(スポーツ3回)・平岩笑美(経済1回)組○関西大学対抗テニスリーグ戦(9/7～15各大学テニスコート)2部：3位3勝2敗【5-0立命大、2-3神陰院大、5-0大院大、4-1大体大、1-4神親女大】※2部残留

今後の予定

団体名	大会名	日程	場所
チアリーディングチーム	クリスマスコンサート2012	12/15	大東市立総合文化センター
	大東消防署出初式	1/8	住道末広公園
アーチェリー部	第16回関西学生アーチェリーインドア選手権大会	予選・決勝	未定
アメリカンフットボール部	第23回 VARSITY BOWL	12/24	王子スタジアム
サイクリング部	全日本学生RCS第8戦	12/16	埼玉県久喜市菖蒲町
	全日本学生RCS第9戦	1/6	埼玉県久喜市菖蒲町
	全日本学生RCS第10戦	1/27	埼玉県久喜市菖蒲町
	全日本学生RCS最終戦	2/17	明治神宮外苑
テコンドー部	第6回全日本テコンドー選手権大会	2/24	胸沢オリンピック体育館
	第6回全日本テコンドーブムセ選手権大会	3/10	埼玉県入間市
バドミントン部	大阪学生バドミントン新入戦大会	12/18・19	龍谷大学深草体育館 他
バスケットボール部	平成24年度関西学生バスケットボール新入戦	12/8～16	各大学体育館
スキー部	第28回FIS全日本学生アルペンチャンピオン大会	1/6～12	長野県山ノ内町志賀高原
	第91回全日本スキー選手権大会・ノルディックコンバインド競技	1/26～27	長野県北安曇郡白馬村
	秩父宮杯・秩父宮妃杯	2/19～24	岩手県八幡平市
	第68回全日本学生スキー選手権大会	3/8～13	新潟県妙高市
	第83回全関西学生スキー選手権大会	12/15	大東市立総合文化センター
吹奏楽部	クリスマスコンサート2012	12/15	大東市立総合文化センター

大阪桐蔭高等学校

体育系クラブ

■ラグビー部

○第92回全国高校ラグビー大会 全国大会大阪第3地区予選優勝 全国大会出場

■硬式野球部

○国民体育大会 仙台育英高校と同時優勝 準決勝【13-0桐光学園高校】※今年度硬式野球部は、甲子園春夏連覇と合わせて「3冠」達成

■女子サッカー部

○第21回関西高校女子サッカー選手権大会3位※全日本高校選手権出場 ○第67回大阪高校総合体育

大会順位決定リーグ優勝

■卓球部

○大阪高校総合体育大会兼近畿高校新人大大会大阪府予選準優勝※近畿高校新人大大会出場

■ゴルフ部

○大阪府高校私学総合体育大会【高校男子の部】3位：増見友紀(Ⅲ類2年)5位：伊木雅貴(Ⅲ類2年)○大阪府高校新入戦【2年男子の部】2位：石原将司(Ⅲ類2年)7位：増見友紀(Ⅲ類2年)9位：伊木雅貴(Ⅲ類2年)10位：徳原悠也(Ⅲ類2年)【1年男子の部】14位：西村翼(Ⅲ類1年)【高校女子の部】2位：榊原美優(Ⅲ類2年)10位：水越菜月(Ⅲ類1年)それ

ぞれ関西大会出場

■陸上競技部

○大阪高校駅伝競走大会兼全国大会府予選男女とも2位入賞

■日本拳法部

○大阪高校秋季新人大大会準優勝 全国大会出場決勝【1-2大商大堺高校】

文化会クラブ

■吹奏楽部

○第25回全日本マーチングコンテスト金賞

2012年 スキー&スノーボード
予約キャンペーン
実施中!!

株式会社 **トラベル日本**

OSUトラベルセンター (大阪産業大学12号館1階)

TEL:072-870-1601(内線4255又は4256) 営業時間 9:30-17:30



その1

先着300名
限定

大抽選会実施中!!

くじ引きにより割引が決定します。

最高で
10,000円割引!!

はずれでもお菓子を進呈
します。

※10名以上の団体さんはどちらか選択となります。

その2

団体
キャンペーン
実施中!!

10名以上の団体
の幹事さんは、なんと
半額!!

お申込期限
2013年1月25日

キャンパスセラピー

⑪



フィリントのチヤキ

カウンセリングの種明かし

人間環境学部文化コミュニケーション学科教授

中川 晶

今日は商売ネタを少し種明かししてみたいと思います。ま、これを言ってしまうと客足が減るかも知れないんだけど。ま、いつもこのコーナーを読んでくれている皆さんへの恩返しのためです。

さて、まずはあなたの性格占いから始めたいと思います。

「あなたは努力家ですね。でも他の人はあまり分かってくれないでしょ？ あなたはこれまでいくつかの人生の困難がありましたが、見事切り抜けてきたし、これからも前向きで頑張ろうと思ってます。

あなたは人前で緊張する時もあるし、リラックスしている時もありますが、基本的にいつも他の人に気を配ってます。あなたには人にはない特別な才能があります。自分でも多少は気づいていますが、はっきりしません。近い将来、特別なチャンスが訪れます。この時、チャンスをうまく生かせば夢をかなえることができます」

いかがですか？ 当たってるでしょ。さすがは、名医と思った人はそのまま次に進んでください。当たってないと思った人にはゴメンナサイですが、まあ続きを読んでください。最後に解説しますので。

さて当たっている人がかなり多いはずですよ。だって、この文章は誰にでも当てはまるように書いたんですもの。え？ 「ずるい」ってですか。いえいえ占いなんてこんなもんなんです。つまり、人は誰でも自分は特別だと思っているものなんです。自分はユニークな存在で、他の人とは違う。

人は認めてくれなくても自分は一生懸命生きてきたのです。人前での緊張、リラックスはいわゆる内向性・外向性ですがどちらにでもとれる文章にしましたし、それでも基本的には周囲に目が向いている、つまり自分がどう見られているかに意識が向いているのが多くの人です。当たる占いができるのは、人間という生き物に基本的なパターンがあるからです。つまりは簡単に言ってしまうと自己愛なんです。極端になるとナルシスト、もっと行っちゃうと自己愛人格障害というところまで行きますが、自己愛を持ってない人はかなりまれです。ほとんどの人は「自分には人に知られてなくても、どこか良いところがあって、きっといつかその長所が認められるチャンスが巡ってくる」と考えています。もし、自己愛がなければ、人間は生きていけないのかもしれませんが。自分なんて駄目と思っている人でもどこかで、全く駄目というわけではなくてどこかしら良いところがあると心の底で思っています。でもね、それでいいんです。ばくの役割は太鼓判をおしてあげることだけなんです。「あなたは大丈夫ですよ」ってね。でも自己愛が健全でない人の場合は逆にカウンセリング的には難渋します。

つまり最初の占いが全く当たらなかった人ですけど、この人たちは平均値をかなり外れた人たちで、煩惱の鎖を解いて悟りを開かれた方か、あるいは全くその逆の方か……あ、失礼。

編集後記

今年是大阪桐蔭高校硬式野球部が甲子園春夏連覇達成ということで、新聞紙上などで「大阪桐蔭」という活字を頻繁に目にしたものです。エースの藤浪晋太郎君が地元阪神タイガースからドラフト第1位指名を受け入団が決まりましたので、特集で取り上げました▽大学にもすごいア

スリートがいました。キックボクシングNJKFフェザー級チャンピオン中嶋浩二君とテコンドー全日本学生チャンピオン江畑秀範君です。ともにスポーツ健康学科2年生で体育教師を目指して本学へ入学。2人そろって充実したトレーニング施設で科学的指導のもと夢に向かって奮闘中で

す▽第47回阪駒祭はメインステージを中庭パティオに移設、「全面禁酒」などはじめての試みで開催されましたが、「BE HAPPY!!!」のテーマのもと盛況のうちに終了しました▽キャリアセンターでは3回生対象の「就活」行事を予定しています。企業研究を重ねることや面接のノウハウを

身につけることで自分の道を切り開いて下さい▽産大高校にダンス部が誕生しています。「ズームアップこの人！」では顧問の松岡直央子先生を取材しました。女子生徒が文化祭などで賑やかに発表することで、学校に活気が生まれることを期待しましょう。（総合企画室・峠 孝尊）

2012
12
月号

No.
20

発行元…学校法人大阪産業大学 総合企画室 学園広報課
〒574-8530 大阪府大東市中垣内3丁目1番1号
http://www.osaka-sandai.ac.jp

TEL: 072-875-3001